

# 保証書

この製品は、厳密な品質管理を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買い上げの販売店に必ず保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名 セパレート型 GPSレーダー探知機		GPS-35GT
●保証期間 ※お買い上げ年月日 年 月 日から		1年間
※お客様	ご住所 〒  TEL (     ) -	
	お名前	
※販売店	店名・住所 〒  TEL (     ) -	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

**MARUHAMA**

GPS / カーロケ帯受信機  
液晶表示・受信機能搭載  
X / K2バンド高感度レーダー探知機

## GPS-35GT

# 取扱説明書



GPS-35GTをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
させていただきます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくための  
ガイドブックです。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分  
理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照く  
ださい。

# 目次

1. 安全についてのご留意とご注意	1
2. ご使用前に	3
3. 製品の構成	5
4. 主な特徴	6
5. 各部説明	8
6. 取付方法	9
①取付方法	9
②コードの接続	12
③初期設定	13
7. 警告動作	14
①GPS測位による警告動作	14
②レーダー波受信に対する警告	19
③受信機による警告	21
8. 本体操作	23
1. 電源ON/OFF操作	23
2. MENUボタンでの操作	23
(1) アラームテスト	24
(2) 音量変更	24
(3) オリジナルポイントの登録	24
(4) オートマッチック・イノベーション・システム (AIS)	25
(5) レーダー波受信感度	25
(6) レーダーアラーム設定	26
(7) オートアラームカット (AAC) システムの設定	26
(8) 取締連絡波 (350.1 MHz) の受信設定	26
(9) カーロケ無線の受信設定	27
(10) デジタル無線の受信設定	27
(11) 署活系無線の受信設定	27
(12) 待ち受け表示	27
(13) パスメモリー登録	28
(14) GPSアラームカットポイントの登録・削除	28
(15) ゴーストアラームカット (GAC) ポイントの手動登録・削除	29
3. RECボタンでの操作	30
(1) 記録再生	30
(2) 保護切替	30
(3) 履歴消去	30
(4) RECORD 2への手動履歴記録	31
4. 初期化	31
9. 故障とお考えになる前に	32
10. 主な仕様	33

# 1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。ご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

## ■絵表示の例



△記号は気をつける必要があることを表しています（警告・注意）。



⊘記号はしてはいけないことを表しています（禁止）。図の中や近くの表示は禁止の内容（左図は分解禁止）を示し、一般の禁止は⊘です。



●記号はしなければならないことを表しています（強制）。（左図は差し込みプラグをコンセントから抜く）。一般の表示は●です。

## 人身の安全のためにお守りいただくこと



### ■本機を濡らさないでください。

水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



### ■車を運転中に本機を操作しないでください。

車を運転中に本機の操作をすることは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。



### ■ケースは絶対に開けないでください。

本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。



### ■スピードの出しすぎにご注意ください。

本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。



### ■発熱・異臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。

これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。（カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください）そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身の修理は絶対に避けてください。



## けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと



### ■衝撃や強い振動を加えないでください。

衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。



### ■高温時の取扱にご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分にご注意ください。



### ■ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。

シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。



## 機能上の制約



### ■日本国内で使用してください。

本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。



### ■マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。

本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤ式などのスピード取締機からの電波は受信しません。



### ■周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。

前方に走行中の車（特に大型車）がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。



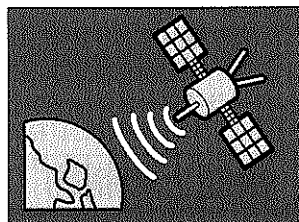
### ■取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。

取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

## 2. ご使用の前に

### GPS測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは地球の衛星軌道上にある人工衛星からの信号を利用し位置情報を算出するシステムです。本機ではこのシステムを利用して自車位置を測定し、あらかじめ登録されている取締機、取締ポイントの位置情報との照合を行います。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかつたループコイル式や光電管式の取締機についても警告を行うことができます。また、新たに設置された取締機や取締ポイントについても30ヶ所まで登録することが可能です。



### 受信機について

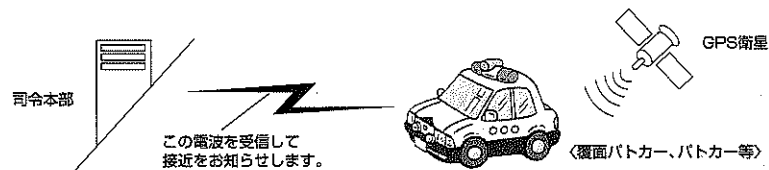
本機は、速度取締連絡波 (350.1MHz)、カーロケータシステム (無線自動車動態表示システム) 電波、および警察デジタル無線 (VHF/署活系) を受信し、音声と液晶表示で警告します。

### ■取締連絡波 (350.1MHz) とは



### ■カーロケータとは

GPSによる位置データを無線で定期的 (間欠) に司令部に送信するシステム。



### ■デジタル無線とは

各都道府県警察本部と移動端末間で交信される時に使用されている電波のことで、移動端末から各都道府県本部へ送信する際に、160MHz帯の周波数が使用されています。

### ■署活系無線とは

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察署との連絡用として使用している無線です。

### 3. 製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。

● 本体	1台
● アンテナ	1台
● 取付ステー (本体)	1個
● 取付ステー (アンテナ)	1個
● エアコンルーバー取り付けブラケット	1個
● 吸盤	4個
● ゴム当て	2個
● 両面テープ (アンテナ)	1個
● 両面テープ (取付ステー)	2個
● コードクリップ	5個
● カー電源コード	1本
● 取扱説明書兼保証書 (本冊子)	1冊

### 4. 主な特徴

#### ■ハイコントラスト液晶表示

レーダー波の受信や取締機への接近、また各種レーダーの受信情報をわかりやすく液晶表示します。

また通常時も車速や時計など、多彩な情報を表示します。

#### ■ゴーストアラームカット (GAC) 機能搭載

自動ドアによる誤動作など、通過のたびに発生するレーダーの誤動作の発生位置を自動的に学習し、不要なアラーム音をカットします。(自動登録のほか、手動操作による登録も可能です。)

#### ■走行履歴の保存機能

プリセット取締機の通過時、自動的に通過前後の走行履歴 (位置情報、車速など) を保存し、走行状況を後から確認する事ができます。また、操作前後の走行履歴を手動で保存することもできます。

#### ■ドライビング・サポート・インフォメーション (DSI)

警告などの様々な情報を音声と液晶表示し、お知らせします。

#### GPS警告機能

##### ■日本国内の各種ポイントデータをメモリ

全国のオービス (速度取締機) 約650箇所、またよく速度取締が行われているポイントをプリセット済みです。GPS電波による自車位置測定により、各ポイントに接近すると液晶表示、音声で警告します。

さらに、オリジナルポイントを最大30箇所まで登録することが出来ます。

##### ■オービスポイント自動検索機能

メモリしてあるオービスの最大2km手前から、液晶表示と音声で接近をお知らせします。

##### ■取締機設置路線の制限速度ガイド機能

プリセットされている取締機への警報時、あわせて制限速度もお知らせします。また、車速の状況に応じて危険か判断し、液晶表示と音声でお知らせします。

##### ■オートマチック・イノベーション・システム (AIS)

高速道路への進入を確認し、車速に応じてROAD設定 (ALL・HIWAY・CITY) を自動的に切り替えます。

従来の製品に必要なだった、走行道路種 (一般道・高速道) の設定が必要なく、異なる道路種に設置された取締機に対して発生していた誤警報を防止します。

※走行場所・環境により、高速道路の走行を判断できない場合があります。その場合は、自動的にALLモードに設定され、すべての取締機に対して警告を行います。

##### ■GPS警告の低速ボイスカット機能

メモリしてあるオービス位置への接近時、停車中や低速走行時の警告ボイスを自動でカットします。

## 受信機

### ■速度取締現場の連絡無線 (350.1MHz) が受信可能

取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信できます。

### ■カーロケータシステム電波が受信可能

緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。

ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。

### ■デジタルロケータシステム電波 (160MHz) が受信可能

160MHz 帯のデジタル無線を受信できます。

### ■ポリロケータシステム電波 (UHF帯署活系) が受信可能

UHF帯の警察署活系無線を受信できます。

### ■デジタル無線発信車両の接近離反をお知らせ

発信車両の接近・離反を判断し、音声でお知らせします

### ■トラップゲートモード搭載

液晶表示と専用アラームで取締(検問等)の可能性が高いことをお知らせします。

### ■バスメモリー機能搭載

不要なチャンネルを記憶し受信拒否できます。

## レーダー

### ■X/Kの2バンド対応

XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。

### ■4モード受信感度切替 (レーダー受信感度)

市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速道路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況に合わせレーダーの受信感度の切り替えができます。

また、車速に応じて自動でモード変更を行うオートモードも搭載。

### ■ステルス/新Hシステム対応

新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。

※ステルス識別モードはステルス型スピード取締に完全対応ではありません。

先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。

### ■オートアラームカット (AAC) システム搭載

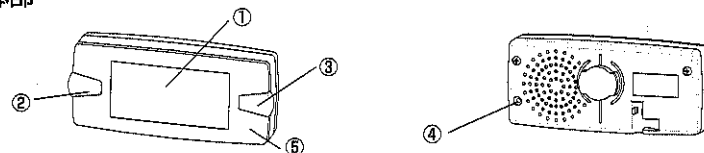
GPSにより走行速度を検出することで、低速走行時のレーダーアラーム音をカットします。

### ■オートミュート機能

一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。

## 5. 各部説明

### 本体部



#### ①液晶ディスプレイ

文字や記号で、警報や状態表示を行います。

#### ②MENUボタン

電源のON/OFFやMAINメニューの選択および決定を行います。

#### ③RECボタン

走行データの記録や、RECメニューの選択および決定を行います。

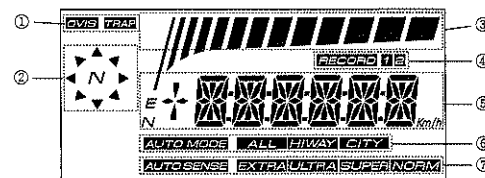
#### ④リセットボタン

設定の初期化を行います。

#### ⑤POWERランプ

電源のON/OFFの状態、およびGPSの測位状態などを表示します。

### 液晶ディスプレイ表示について



#### ①取締り種類表示

取締の種類に応じた表示をします。

#### ②コンパス表示

プリセット登録されている取締機・取締ポイントに対して警告を行うとき、取締機・取締ポイントのある方向を示します。また、通常時は北を指します。

#### ③レベルゲージ表示

GPS警告時の距離レベルやレーダー・レーザーの受信レベルや走行車速などレベルを表示します。

#### ④走行履歴表示

走行履歴の保存状況を表示します。

#### ⑤メイン表示

現在時刻や各種警告内容など、様々な情報を表示します。

#### ⑥ロード設定表示

GPS警告機能のROAD設定状況を表示します。

#### ⑦レーダー感度表示

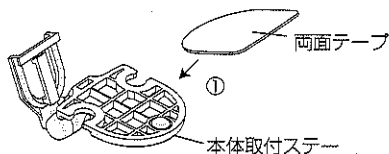
設定されているレーダー感度・オート感度機能の設定状況を表示します。

## 6. 取付方法

### 1 取付方法

#### 1. ダッシュボードへの取付

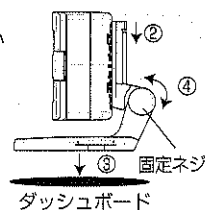
①同梱の両面テープを本体取付ステーに貼り付けます。



②本機に本体取付ステーを取り付けます。

③両面テープのもう一方でダッシュボードへ取り付けます。

④本体の角度を水平になるように、固定ネジを締め、しっかりと固定してください。

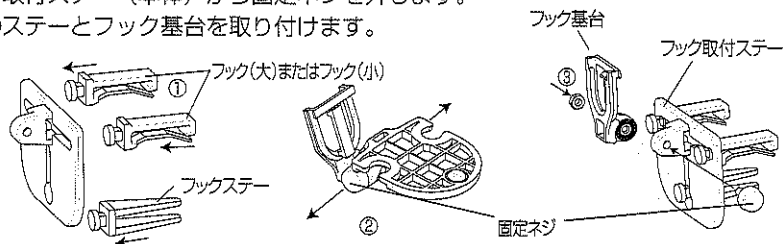


#### 2. エアコンルーバーへの取付

①フック(大または小)とフックステーをフック取付ステーの穴に通します。

②取付ステー(本体)から固定ネジを外します。

③ステーとフック基台を取り付けます。



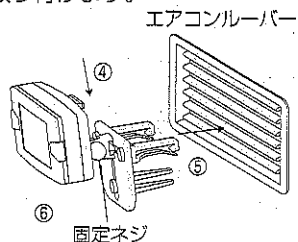
④本機を本体エアコンルーバー取付ブラケットに取り付けます。

⑤エアコンルーバーに取り付けます。

⑥適当な角度を決め、固定ネジで固定します。

※フック(大)、フック(小)はルーバーの溝の深さでご使用ください。(ルーバーの大きさと使用できない場合があります。)

※ルーバー使用時は本体に直接エアコンからの風が当たらない様にしてください。  
※車種により取り付ける事のできない場合があります。



#### 4. アンテナのダッシュボードへの取付(ステー使用)

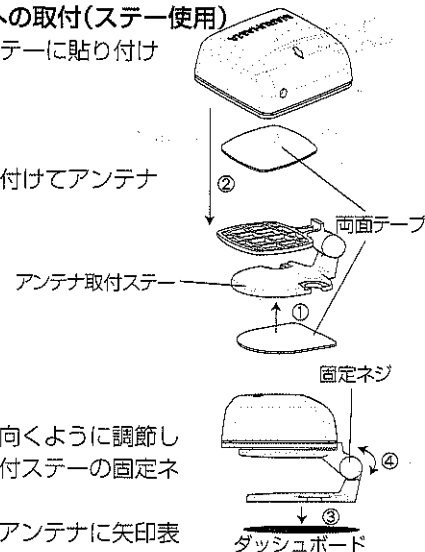
①同梱の両面テープをアンテナ取付ステーに貼り付けます。

②アンテナを同梱の両面テープで貼り付けてアンテナ取付ステーに貼り付けます。

③ダッシュボードに貼り付けます。

④レーダー波受信部が車の進行方向を向くように調節し本体の角度を水平になるようにし、取付ステーの固定ネジを締めて固定してください。

※レーダー波受信部が車の進行方向(アンテナに矢印表示あり)を向くように調整してください。

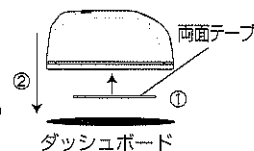


#### 5. アンテナのダッシュボードへの取付

①アンテナに同梱の両面テープを貼り付けます。

②ダッシュボードへ貼り付けます。

※レーダー波受信部(アンテナに矢印表示あり)が車の進行方向を向くように調整してください。

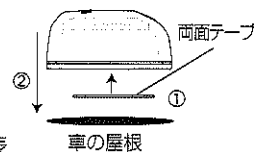


#### 6. アンテナの車外への取付

①アンテナに同梱の両面テープを貼り付けます。

②車の屋根周辺へ貼り付けます。

※レーダー波受信部が車の進行方向(アンテナに矢印表示あり)を向くように調整してください。

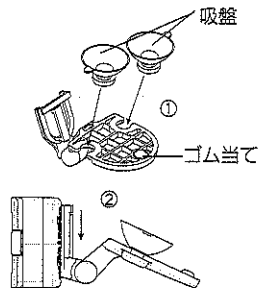


## ちょっと一言

●取付ステーには上記で紹介した方法以外に吸盤を取り付ける方法もあります。

### 1. 本体取付ステーに吸盤を取付

①本体取付ステーに吸盤を2個、ゴム当て1個を取り付けます。



②本機に本体取付ステーを取り付けます。

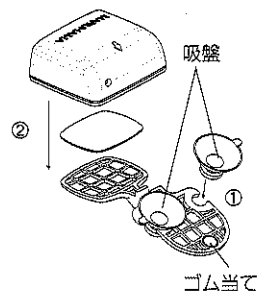
※吸盤を貼り付ける事ができる箇所であればどこでも取り付けることができます。

### 2. アンテナ取付ステーに吸盤を取付

①アンテナ取付ステーに吸盤を2個、ゴム当て1個を取り付けます。

②アンテナを同梱の両面テープで貼り付けます。

※吸盤を貼り付ける事ができる箇所であればどこでも取り付けることができます。



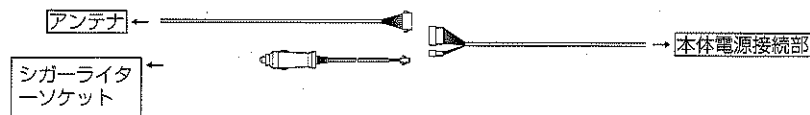
## 2 コードの接続

### 1. カー電源コードの接続

カー電源コードの電源ジャックを本体接続ケーブルの接続部に差し込み、シガーライターソケットをシガーライタープラグに差し込みます。

また、アンテナ接続ケーブルと本体接続ケーブルを接続して下さい。

※接続方法



### ご注意

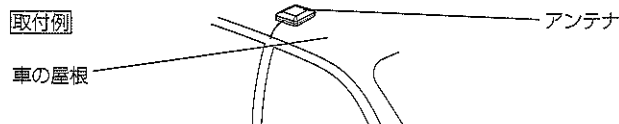
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除をしてから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをお使いください。

### 2. アンテナ接続ケーブルの設置

1. アンテナを車の屋根など、GPS衛星からの信号を受けやすい場所に取り付けて下さい。

両面テープでしっかり固定するために平らな面に取り付けて下さい。

取付例



2. アンテナのコードを車内に引き込んでください。

### ご注意

- 本機に雪が積もると受信ができなくなります。雪を取り除いて下さい。
- アンテナを付けたまま洗車機などをご使用しないで下さい。(車の傷や故障の原因となります。)
- 雨水が車内に入らない様にするため、アンテナのコードはドアの下から車内に引き込んで下さい。
- アンテナのコードを、車外でたるませたままにしないで下さい。コードクリップなどで固定して下さい。
- コードはラジオなどのアンテナコードから離して下さい。(ラジオなどの受信妨害の原因となります。)
- アンテナとの接続に問題がある場合、動作中に“ピッピッピッ”とアラームでお知らせします。



### 3 初期設定

本機は工場出荷時に初期設定していますので、初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

#### 工場出荷時の設定

工場出荷の時点において、各設定は以下のようにされています。

設定項目	設定値
AIS	オートモードON、ALLモード
レーダー感度	オートセンスモードON、エクストラ
オートアラームカット (AAC)	40キロ
レーダーアラーム	ブザー
音量	最大
デジタル無線	ON
警活系無線	ON
カーロケ無線	ON
取締無線	ON
ユーザーオリジナルポイント	未登録
ゴーストアラームカットポイント	未登録
プリセットポイントのアラームカット	未登録
パスメモリー	未登録

#### 注意

●各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

※変更した設定を初期化したい場合

●本体のリセットボタンを押すと、「ピー」とアラームでお知らせし、液晶表示に「ALLCLR」と表示され、設定が工場出荷時のものに初期化されます。



※オールクリア表示

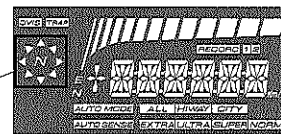
## 7. 警告動作

### 1. GPS測位による警告動作

#### ①GPS機能の使用

GPS測位が確定すると、「ブーン、GPSを測位しました」と、音声で案内しPOWERランプが緑色点灯し測位完了をお知らせします。

※測定中は、POWERランプは緑色点滅します。



●コンパス表示  
通常時は北を指し示します。



※表示例  
北西に進んでいる場合

#### 注意

●起動した直後は測位が完了するまでに時間のかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

#### 警告の対象とする道路種

液晶の「オール」／「ハイウェイ」／「シティ」表示により、警告の対象とする道路種をお知らせします。

モード	警告対象	液晶表示
オールモード	全ての登録済みポイント	ALL
高速モード	高速道路に設置されたポイント	HIWAY
一般モード	一般道に設置されたポイント	CITY

#### 注意

●遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、測位できていないことを「GPS測位できません」と、音声でお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。

## ②GPS警告動作

本製品にあらかじめ登録されているプリセットポイント（取締機及び取締ポイント）、お客様が登録されたオリジナルポイントに接近すると音声、及び液晶表示でお知らせします。

追跡中のバックライトは赤点灯します。

### (1)取締機に対する警告動作

#### 警告動作

#### ① 最大2km手前

音声で警告します。  
"取締機に接近しました。"

#### ② 約1km～500m手前

液晶表示と音声で警告します。  
例) "ポーン、制限速度は50キロ未満です、  
1キロ先の一般道路、LHシステムに注意してください。"



※レベルメーターは取締機との距離を示します。  
※コンパス表示は取締機の方向を示します。

#### ③ 一定時間毎に音声で警告します。

音声で警告します。  
制限速度以上の場合の例) "ポーン、速度オーバーです、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

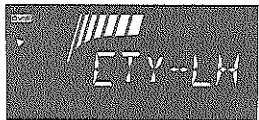
制限速度未満の場合の例) "ポーン、安全速度です、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

#### ④ 500m～200m手前

液晶表示と音声で警告します。  
例) "ポーン、制限速度は50キロ未満です、500m以内の一般道路、LHシステムに注意してください。"



※レベルメーターは取締機との距離を示します。  
※コンパス表示は取締機の方向を示します。

#### ⑤ 一定時間毎に音声で警告します。

音声で警告します。  
制限速度以上の場合の例) "ポーン、速度オーバーです、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

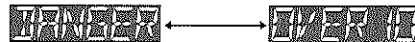
制限速度未満の場合の例) "ポーン、安全速度です、LHシステムに注意してください。"



※現在の車速度を表示

#### ⑥ 200m手前～通過まで

液晶表示と音声で警告を繰り返します  
(1)制限速度以上（10キロオーバーで走行中）の場合  
"危険です。危険です。..."



(2)制限速度未満の場合

"注意してください。注意してください。..."



#### ⑦ 通過後

音声でポイント通過時の速度をお知らせします  
例) "通過速度は60キロ未満です"

### ちょっと一言

●距離内容は距離に応じて "1キロ先"、"1キロ以内"、"500m先"、"500m以内"と変わります。

●取締機の方向を示します



●道路種内容はポイントの設置されている道路により "一般道路" または "高速道路" となります

●距離に応じて変化します

●取締機の内容はポイントにより識別し、お知らせします。

取締機の種類：  
・LHシステム  
・Hシステム  
・ループコイル式オービス  
・レーダー式オービス  
・NHシステム

●通過速度は40キロ未満から160キロ未満まで、10キロ刻みでお知らせします。

●トンネル直後の取締機については、トンネル進入前に音声でお知らせします。  
例) "ポーン、トンネル出口の一般道路、LHシステムに注意してください"

## (2)オリジナルポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ① 約1km～500m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) “ポーン、1キロ先のオリジナルポイントに注意してください。”



#### ② 一定時間毎に音声で警告します

液晶に現在の車速、音声で警告します。

例) “ポーン、オリジナルポイントに注意してください”



※現在の車速度を表示

#### ③ 500m～200m手前

液晶表示と音声で警告します。

また、現在の車速をお知らせします。

例) “ポーン、500m先のオリジナルポイントに注意してください。”



※現在の車速度を表示

#### ④ 一定時間毎に音声で警告します。

液晶に現在の車速、音声で警告します。



※現在の車速を表示

#### ⑤ 200m手前

液晶に車速と音声で警告します。

例) “危険です。危険です。危険です。…”



※現在の車速度を表示

#### ⑥ 通過後

音声でポイント通過時の速度をお知らせします

例) “通過速度は60キロ未満です”

## (3)取締ポイントに対する警告動作

### 警告動作

#### ① 約1km～500m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) “ピピーッ、一般道路、検問に注意してください。”

#### ② 一定時間毎に音声で警告します

音声で警告します。

例) “ピピーッ、検問に注意してください。”

#### ③ 500m～200m手前

液晶表示と音声で警告します。

例) “ピピーッ、一般道路、検問に注意してください。”



※一般道路



※高速道路

### 注意

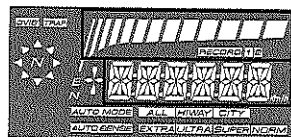
- GPS警告の開始後、車の走行速度が低い状態では自動的に警告ボイスをカットします。
- 警告ボイスはGPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、危険が回避された場合（横道にはいるなどで方向変換した場合等）は警告動作を終了します。
- 本機ではレーダー受信よりもGPS警告を優先します。  
このため、GPS警告中はGPS状態の優先表示となり、レーダー受信アラームも鳴りません。

## 2. レーダー波受信に対する警告

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音および液晶表示によりレーダー波の受信をお知らせします。

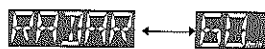
レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて、警告音及び液晶が変化します。またステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
アラーム音	電波が強くなるほど鳴る間隔が短くなります。(音色 ビツビツ)ただし、メロディを選択している場合、テンポは変化しません	ステルス専用音声・アラームで警告します。 音声「ステルスをキャッチしました」



レベルゲージ  
警告レベルに応じたメーターを表示します。

マルチディスプレイエリア  
警告内容を表示します



※レーダー表示 ※速度表示

### 注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するということではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

### オートミュート機能

レーダー波受信時に一定時間受信した場合、自動的に警告音の音量が小さくなります。

### オートアラームカット (AAC) システム

GPS測位で取得した車速をもとに、設定速度以下での走行時のレーダーアラーム音をカットします。

オートアラームカット時に液晶に「AAC」と表示されます。



※オートアラームカット表示

設定速度の変更方向はP.26を参照してください。

### ゴーストアラームカット (GAC) 機能

GPS機能を利用し、自動ドアなどの電波によるレーダー誤作動発生位置を自動的に登録・動作します。

※同一エリアにおいて、レーダー受信が行われると、GACエリアとして自動的に登録されます。登録時には、「ブーン、不要な電波を削除します」と音声でお知らせします。

GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時にアラーム音出力を停止します。

GAC動作中は液晶に「GAC」と表示されます。



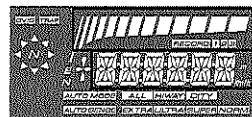
※ゴーストアラームカット表示

### 注意

- 設置型あるいはスピード取締などの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での消去操作 (P.29参照)を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点でいったん消去されます。手動で登録されたポイントは自動消去されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。

### 3. 受信機による警告

本機は速度取締連絡波 (350.1MHz)、カーロケーターシステム (自動位置測定情報システム) 電波、および警察デジタル無線 (VHF/署活系) を受信し、音声と液晶表示で警告します。工場出荷時はヘリテレ無線、緊急無線以外の受信機能が「ON」に設定されています。



- レベルゲージ  
警告レベルに応じたメーターを表示します。
- マルチディスプレイエリア  
警告内容を表示します。

#### (1) 取締連絡波の受信

- ・取締連絡波 (350.1MHz) を受信すると液晶表示し、受信音声を聴くことができます。
- ・取締連絡波受信時は液晶に「P350」と表示され、レベルゲージは電波の強弱で変化します。



※取締連絡波受信表示

- ・受信終了後には“ピンポン、取締無線をキャッチしました。注意してください”と、音声でお知らせします。

#### (2) カーロケ無線の受信

- ・カーロケ無線を受信すると「CARLOC」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。
- ・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、カーロケをキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車輦が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車輦が遠ざかりました



※カーロケ無線受信表示

#### 注意

- カーロケーターシステムは全ての緊急車輦に搭載されているわけではなく、また常時車輦から電波を出しているわけでもありません。  
このような場合は緊急車輦の接近があってもお知らせすることはできません。
- カーロケ無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (3) デジタル無線の受信

- ・デジタル無線を受信すると「DIGI-V」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。
- ・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、デジタル無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車輦が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車輦が遠ざかりました



※デジタル無線受信表示

#### 注意

- デジタル無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (4) 署活系無線の受信

- ・署活系無線を受信すると「POLICE」と液晶表示し、レベルゲージは電波の強弱で変化します。
- ・また、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音声
初回受信	—	ピンポン、署活系無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車輦が接近しました
	離反判定	ピンポン、緊急車輦が遠ざかりました



※署活系無線受信表示

#### 注意

- 署活系無線はデジタル化されており、通話内容を聞くことはできません。

#### (5) トラップゲートモードの受信

- ・複数の警察無線を受信した場合、取締 (検問) の可能性が高いと判断し、液晶表示とアラーム音でお知らせします。
- ・また、レベルゲージが専用のスクロールをします。



※トラップゲートモード表示

#### 注意

- 警告音が鳴らなくても取締が行われていることもありますのでご注意ください。

## 8. 本体操作

### 1. 電源ON/OFF操作

- ・電源OFF時にMENUボタンを押す事で電源ONになります。
- ・また、電源ON時にMENUボタンを長く押す事で電源OFFになります。

### 2. MENUボタンでの操作

- ・待ち受け時にMENUボタンを短く押す事でMAINメニューモードになります。
- ・MAINメニューモード中はMENUボタンを短く押す度に設定項目が移動し、長く押す事で決定します。各項目は下図の順で設定項目が移動します。
- ・MAINメニューモード中は、RECボタンを短く押す事で通常待ち受け画面に戻ります。また、30秒無操作でも通常待ち受け画面に戻ります。

設定項目	参考ページ
○GPSアラームカットポイント登録	P28
○GPSアラームカットポイント削除	P28
○ゴーストアラームカット手動登録	P29
○ゴーストアラームカット削除	P29
○オリジナルポイント削除	P24
アラームテスト	P24
音量変更	P24
オリジナルポイント登録	P24
AIS	P26
レーダー感度	P26
レーダーアラーム設定	P27
AAC設定	P27
取締連絡波	P27
カーロケ無線	P28
デジタル無線	P28
靈活系無線	P28
待ち受け表示	P28

※MAINメニューモード設定項目

※○印は各動作中のみ表示されます。

※設定項目最後までいき、更にMENUボタンを押すと通常待ち受け画面に戻ります。

### (1) アラームテスト

- ・レーダーやオービス等の警告動作を表示します。



### (2) 音量変更

- ・MENUボタンを長く押す度に音量は大きくなります。
- ・音量は8段階あり、最大は「VOLMAX」、最小は「VOL.1」と表示されます。
- ・「VOLMAX」の状態でもMENUボタンを長く押す事で、音量は最小の「VOL.1」になります。



### (3) オリジナルポイントの登録

- ・新しく設置された取締機や、よく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30ヶ所までオリジナルポイントとして登録することができます。

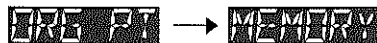
#### 登録方法

- 1 MENUボタンを短く押しMAINメニューに入ります。

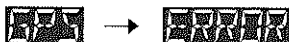
- 2 液晶表示「ORG PT」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。  
「サーチします」と音声でお知らせし、GPS測位を開始します。



- 3 オリジナルポイントが登録されます。  
オリジナルポイントが登録されます。GPSの測位状況によっては時間がかかる場合があります。登録完了時は下図の表示と「オリジナルポイントを設定しました」と音声でお知らせします。



GPS測位が完了しなかった場合、登録失敗となります。  
この場合、下図のエラー表示と「設定できません」と音声でお知らせします。



操作後、オリジナルポイントとして警告します。

#### 削除方法

- 1 オリジナルポイント警告中に、MENUボタンを短く押しMAINメニューに入ります。

- 2 液晶表示「ORGDEL」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。



- 3 オリジナルポイントを削除します。  
操作後、オリジナルポイントとして警告動作を行いません。

#### ご注意

- オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能です。  
登録件数最大状態で新たに登録したい場合は、登録内容を削除してください。
- オリジナルポイントを削除するには、オリジナルポイント警告中に削除操作を行ってください。

#### (4) オートマッチック・イノベーション・システム (A I S)

- ・MENUボタンを長く押すたびに「AUTO」→「ALL」→「HIWAY」→「CITY」の順で切り替わります。
  - ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。
- ※道路状況によりオートモード設定が正常に動作しない場合があります。  
この場合任意の道路設定に変更して下さい。

設定	音声	液晶表示	説明
オート	設定しました。	<b>AUTO MODE</b>	走行道路種の設定を自動的に に行います。
オール	オールモードを設定しました。	<b>ALL</b>	高速道路、一般道路の全ての 取締機に対して警報します。
ハイウェイ	高速モードを設定しました。	<b>HIWAY</b>	高速道路の取締機に対して 警報します。
シティ	一般モードを設定しました。	<b>CITY</b>	一般道路の取締機に対して 警報します。

#### (5) レーダー波受信感度

- ・MENUボタンを長く押す度に、レーダー波受信感度を下図の様に切り替わります。
- ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。

感度	音声	液晶表示
オートセンスモード	設定しました。	<b>AUTO SENSE</b>
高 ↑ ↓ 低	エクストラモード	エクストラモードを設定しました。 <b>EXTRA</b>
	ウルトラモード	ウルトラモードを設定しました。 <b>ULTRA</b>
	スーパーモード	スーパーモードを設定しました。 <b>SUPER</b>
	ノーマルモード	ノーマルモードを設定しました。 <b>NORM</b>

#### (6) レーダーアラーム設定

- ・レーダー波を受信した場合のアラーム音をブザーとメロディ (2種類) から選択できます。
  - ・MENUボタンを長く押す度に、ブザー→メロディ1→メロディ2→ブザー→…、と切り替わります。
- ※ブザー、メロディ、または音声の出力中はアラーム音の変更はできません。

設定	液晶表示	内容
ブザー	<b>BZZ</b>	"ビッビッビッ"
メロディ1	<b>MEL1</b>	アルルの女
メロディ2	<b>MEL2</b>	メリーさんの羊

#### (7) オートアラームカット (AAC) システムの設定

- ・MENUボタンを長く押す事により、AACの機能及び設定速度が切り替わります。
- ・GPS測位で取得した車速をもとに、制限速度以下での走行時のレーダーアラーム音が鳴りません。

設定	設定速度	液晶表示	音声
ON	時速40km	<b>40</b>	AACを40キロに設定しました。
	時速50km	<b>50</b>	AACを50キロに設定しました。
	時速60km	<b>60</b>	AACを60キロに設定しました。
OFF	-	<b>OFF</b>	AACを解除しました。

#### (8) 取締連絡波 (350.1MHz) の受信設定

- ・MENUボタンを長く押す事により、受信設定のON/OFFを切り替える事ができます。
- ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON	<b>ON</b>	取締無線を設定しました
OFF	<b>OFF</b>	取締無線を解除しました

### (9) カーロケ無線の受信設定

- ・MENUボタンを長く押す事により、受信設定のON/OFFを切り替える事ができます。
- ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		カーロケを設定しました
OFF		カーロケを解除しました

### (10) デジタル無線の受信設定

- ・MENUボタンを長く押す事により、受信設定のON/OFFを切り替える事ができます。
- ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		デジタル無線を設定しました
OFF		デジタル無線を解除しました

### (11) 警活系無線の受信設定

- ・MENUボタンを長く押す事により、受信設定のON/OFFを切り替える事ができます。
- ・選択中の項目を液晶表示で、選択決定を音声でお知らせします。

受信設定	液晶表示	音声
ON		警活系無線を設定しました
OFF		警活系無線を解除しました

### (12) 待ち受け表示

- ・MENUボタンを長く押す事で、「速度表示」→「時計表示」→「非表示」と通常待ち受け画面を切り替える事ができます。

設定	液晶表示	音声	表示内容
速度表示		設定しました	現在の速度を表示します。
時計表示		設定しました	現在の時刻を表示します。
非表示		設定しました	何も表示しません。

### (13) パスメモリー機能

- ・デジタル無線 (VHF、警活系) をパスメモリーに登録する事で、受信対象から外すことができます。
- ・登録する事により地域ごとに異なる使用チャンネルを受信しない様にできるので、効率的かつ実用的な受信検出ができます。

#### 操作方法

① 受信します。

② MENUボタンを短く押します。

受信したチャンネルをパスメモリーに登録します。  
登録が完了すると、液晶に「PASS」、「MEMORY」と表示され「パスメモリーを設定しました」と音声でお知らせします。

#### ご注意

受信していない状態で上記の操作を行いますと、液晶に「PASS」、「ERROR」と表示され「パスメモリーを設定出来ません」と音声でお知らせします。

③ 受信待ちの状態になります。

※登録されたチャンネルは受信しても警告を行いません。

### (14) GPSアラームカットポイントの登録・削除

- ・デジタル無線 (VHF、警活系) をパスメモリーに登録する事で、受信対象から外すことができます。
- ・登録する事により地域ごとに異なる使用チャンネルを受信しない様にできるので、効率的かつ実用的な受信検出ができます。

#### 登録方法

① GPS警告中にMENUボタンを短く押してMAINメニューに入ります。

② 液晶表示「ALMCUT」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。

③ GPSアラームカットエリアを登録します。

操作後、GPSアラーム音をカットします。

#### 削除方法

① GPSアラームカット警告中にMENUボタンを短く押してMAINメニューに入ります。

② 液晶表示「ALM ON」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。

③ GPSアラームカットエリアを削除します。

操作後、通常のGPSアラーム警告を行います。

#### ご注意

●警告動作中以外はこのメニュー操作を行う事ができません。



### (15) ゴーストアラームカット (GAC) ポイントの手動登録・削除

- ・自動ドアなどの電波によるレーダー誤動作発生位置を登録できます。
- ・GACエリアとして登録された場所では、レーダー受信時のアラーム音を鳴らしません。
- ・GAC動作中は液晶に「GAC」と表示されます。



※ゴーストアラームカット表示

#### 登録方法

① レーダー受信中にMENUボタンを短く押しMAINメニューに入ります。  
"ブーン"と音声でお知らせします。

② 液晶表示「GAC PT」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。



③ ゴーストアラームカットエリアとして登録します。

現在位置を中心として一定範囲をゴーストアラームカットエリアとして登録します。

登録完了時には、"不要な電波を削除しました"と音声でお知らせします。



現在位置を測位できなかった場合は、"設定できません"と音声でお知らせします。



操作後、アラーム動作を行いません。

#### 削除方法

① GACエリアでレーダー受信中にMENUボタンを短く押しMAINメニューに入ります。

② 液晶表示「GAC DEL」の画面でMENUボタンを長く押し決定します。



③ ゴーストアラームカットエリアを削除します。

操作後、通常のアラーム警告を行います。

#### ご注意

- 設置型あるいはスピード取締などの速度取締によるレーダー波を、同じ場所で2日連続受信した場合に、誤ってゴーストアラームカットエリアとして登録することがあります。この場合は、手動での削除操作を行ってください。
- 自動的に登録されたゴーストアラームカットポイントは、登録から30日経過した時点で一度削除されます。手動で登録されたポイントは自動削除されません。
- GPSの測位状況によっては、ゴーストアラームカットエリアでもアラーム音が鳴る場合があります。
- 警告動作中以外はこのメニュー操作を行うことができません。

### 3. RECボタンでの操作

- ・待ち受け時にRECボタンを短く押す事で、RECメニューモードに入ります。
- ・RECメニューモード時にRECボタンを短く押す事で設定項目を移動する事ができます。
- ・RECメニューモード中は、MENUボタンを短く押す事で通常待ち受け画面に戻ります。また、30秒無操作でも通常待ち受け画面に戻ります。
- ・操作したい項目でRECボタンを長く押す事で各操作を行う事ができます。

選択	液晶表示	参考ページ
記録再生		P30
保護切替		P30
履歴消去		P31

※RECメニューモード設定項目

#### (1) 記録再生

- ・走行履歴情報を再生し、記録した「日付」「時刻」「速度」「緯度・経度」を液晶表示と音声で確認する事ができます。
- ・RECボタンを短く押す事で自動記録履歴と手動記録履歴、モード終了を切り替えます。
- ・RECボタンを長く押す事で選択した項目に決定し、記録再生またはRECメニューモードへ戻ります。
- ※RECボタンを短く押す事で、走行履歴の再生情報を切り替える事ができます。

選択	液晶表示
自動記録	
手動記録	
RECメニューモードへ戻る	

#### (2) 保護切替

- ・走行履歴情報を上書き禁止、削除禁止にする事ができます。
- ・RECボタンを短く押す事で保護ONと保護OFF、モード終了を切り替えます。
- ・RECボタンを長く押す事で選択した項目に決定し、待ち受け状態へ戻ります。

選択	液晶表示	音声
保護ON		設定しました。
保護OFF		解除しました。
RECメニューモードへ戻る		"ビッ"

※REC1、REC2一括して保護します。

### (3) 履歴消去

- ・RECORD1、RECORD2で選択し、選択した走行履歴情報を削除します。
- ・RECボタンを短く押す事で項目が切り替わります。
- ・RECボタンを長く押す事で選択した項目に決定し、通常状態へ戻ります。

選択	液晶表示	音声
REC1消去		消去しました。
REC2消去		消去しました。
モード終了		“ピッ”

### (4) RECORD2への手動履歴記録

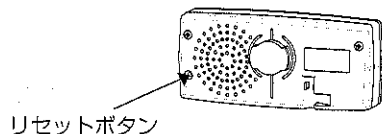
- ・RECボタンを短く押す事で操作前後の走行情報を保存し、後で確認する事ができます。
  - ・取締機通過前後の走行履歴を保存し液晶表示及び、音声で出力し確認する事ができます。
- ※記録が保護状態の場合は、記録される事はありません。

### 4. 初期化

- ・本体裏にあるリセットボタンを細い棒などで短く押す事で購入時の状態に戻す事ができます。

#### で注意

- 記録されている設定等が初期の状態に戻ります。再設定の必要があります。
- 自己の責任において初期化は行ってください。



## 9. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない (POWERランプ がつかない)	●カー電源コードが奥まで入ってない。(P.12参照)
何も表示しない	●表示モードが非表示設定になっている。(P.27参照)
受信しない(音が 出ない)	●電源がはいっていない。(P.23参照) ●音量が低い。(P.24参照) ●受信感度設定がノーマルで電波の弱い場所にいる。(P.25参照) ●A/Cが働いている(P.26参照)。 ●GPS測位が確立していない。 ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない。 ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源がはいっていない。
GPS警告をしない	●GPS測位していない。 ●新規に設置されたオービスである。
警告音が鳴り続ける	●アンテナとの接続が外れてませんか。(P.12参照)
取締以外で警告が でる	●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響。
取締現場で連絡無 線が受信できない	●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありませ ん。

## 10. 主な仕様

### ◇GPS受信部

- データ登録件数 ..... 7,500件
- オービス登録地点 ..... 約650ヶ所
- オリジナルポイント ... 最大30ヶ所

### ◇レーダー受信部

- 受信周波数 ..... X/Kバンド
- 受信方式 ..... ダブルスーパーヘテロダイン

### ◇レシーバー受信部

- 受信周波数 ..... UHF帯/VHF帯
- 受信方式 ..... ダブルスーパーヘテロダイン

### ◇外観・一般

- 電源電圧 ..... 本体 12V
- 動作温度範囲 .....  $-10^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$
- 外形寸法 ..... 本体 90 (W) × 40 (H) × 22 (D) mm  
..... アンテナ 55 (W) × 23.5 (H) × 51 (D) mm
- 重量 ..... 本体 140g (コード除く)  
..... アンテナ 90g (コード除く)

## ●保証規定

1. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
3. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
  - （イ）使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合。
  - （ロ）お買い上げ後の郵送、移動、落下等による故障および損傷。
  - （ハ）火災、地震、水害、公害、その他天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
  - （ニ）保証書のご提示がない場合。
  - （ホ）保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
4. 本保証書は、日本国内において有効です。

## ■保証、アフターサービスについて

### ●保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

保証書（本書に刷り込まれています）は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

### ■保証期間中は：

保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。  
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

### ■保証期間が過ぎているときは：

お買い求めの販売店にご相談ください。  
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

### ●あらかじめご承知いただきたいこと

修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります。また、出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご承知ください。

### ●商品についてのお問い合わせは

マルハマサービス フリーダイヤル 0120-08-1114  
携帯電話よりおかけの方は TEL 045-251-2687